

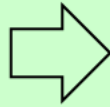
ICTを活用した営農展開による省力化の実現 ～(有)定岡農園(定岡 秀樹氏) [比布町]～

経営体の概要

事業実施前：平成14年

基幹作物：水稻、小麦、てんさい

経営面積：27.0ha



事業実施後：令和2年

基幹作物：水稻(主食、WCS)、小麦
かぼちゃ(加工用)

経営面積：56.9ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

水稻を中心とした経営を行っていたが、本事業(用水路のパイプライン化等)により用水の安定供給と漏水防止が図られ、用水管理労力が大幅に軽減された。これを契機に規模拡大とほ場整備等で大区画化し、作業軽減と平準化を図るため、トラクター、田植機、ビークル、マルチ機に自動操舵(GPSガイダンス付)の搭載やラジコンボートの利用などICTを活用した営農を展開するとともに、湛水直播やWCSと小麦の農作業を外部委託し省力化を実現した。

営農改善のポイント

①機械・設備の整備

経営面積の拡大と大区画化により、農作業の効率化と省力化を図るため、トラクター、田植機、ビークル(病虫害防除等)、マルチ機には、GPSガイダンスと自動操舵を搭載し、ラジコンボートを利用した除草剤散布などICTの活用を推進している。

湛水直播は、播種機及びWCS収穫機を共同利用し、育苗施設や資材費軽減と作業の平準化を図り低コスト化を実現している。



直進アシスト付き田植機

②省力化

大区画ほ場での自動操舵等を搭載したトラクターによる代かき作業むら解消、同様に直進アシストの田植機による運転操作と苗補給の1人作業での労働力節減、直播機械やWCS収穫機の共同利用による省力化を推進している。また、小麦は、播種・収穫・乾燥調製を農作業受託組織を活用し作業軽減を図っている。



農作業受託組織の収穫(小麦)

③作物の変化

用水の安定供給とほ場条件の改善により、トラクター自動操舵等のICTを活用して作業効率の向上を図り、高品質米(特別栽培米、YES!Clean米)の作付拡大と湛水直播、WCS、加工用かぼちゃを導入している。



かぼちゃの収穫作業

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：北海道旭川市、上川郡鷹栖町、
同郡比布町、同郡愛別町

受益面積：3,232ha

事業期間：平成15年度～平成27年度

事業目的：用水改良

主要工事：頭首工1箇所、用水路27.1km

位置図(北海道)



ぴっぷ地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部

農業振興課 調整係

電話：011-709-2311

(内線5684)

(令和2年度調査時点)